

窓口支援事例 【茨城県 知財総合支援窓口】

企業情報

coco de class 株式会社

所在地	茨城県那珂郡東海村		
ホームページ URL	http://cocodeclass-afs.com/		
設立年	2016年	業種	その他サービス業
従業員数	4人	資本金	500万円

企業概要

当社は、アーティフィシャルフラワーショップ教室を東京・吉祥寺にて運営しながら、各種イベントでの空間づくり、衣装・ヘアメイク・スタイリングに関するデザインを手掛けています。お客様は全国各地、海外からもお越し頂いています。フラワー制作やレッスンには「色の心理効果」「季節や日本の伝統の知識」を反映させていることが大きな特徴です。花を飾るだけ、制作するだけでなく、雑貨とのコーディネートや心地よいインテリアとしてトータルに空間を作り上げることをご提案をしています。

また、花材メーカーにて商品提案のデザイナーを担当させて頂き、デモンストレーションやディスプレイをしています。



自社の強み

当社のもう一つの事業として、色彩による感性の研究や講演活動を行っています。現在は大学と共同研究を実施し、色の癒し効果を用いた新事業を計画しています。得られた研究成果と対象となるビックデータを活用した構成となる予定です。

ビックデータの活用に関しては、茨城県が筑波大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携して実施している「サービス産業生産性付加価値向上促進事業」においてモデル事業者に採択され、専門家の皆様からご指導を受け勉強しています。



一押し商品

色彩の心理効果を取り入れたアーティフィシャルフラワーから空間作りまで、トータルデザインを手掛けています。オフィス、店舗、ウェディング空間において「ストレスを緩和する」「お客様が癒される」「季節感を表現」など、ご要望に合わせ、心理効果や感性を取り入れたコーディネートを手掛けています。イベントなどでは、体験型の小さなワークショップからプロ育成のレッスンまでご対応させて頂きます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

相談者は、長年の色彩心理に関する研究や講演活動から色による心理効果を実感していました。このことから、色彩心理を用いた塗絵による高齢者向けの健康促進事業を計画でした。そこで新事業を立ち上げ前に検討中事業について、何か知的財産権で保護できないかとの要望から知財総合支援窓口を訪れました。

最初の相談概要

計画中の事業について、特許、意匠、実用新案、商標の効果の説明したところ、事業そのものを知財権で保護したいとの相談者の要望からビジネスモデル特許取得を提案しました。ビジネスモデル特許については、その特徴を理解すること及び特許出願に向けては専門家（弁理士）のアドバイスが必須と思われることから、専門家派遣による支援をしました。

その後の相談概要

派遣専門家のアドバイスにより、ビジネスモデル特許取得のための要件を構築していく中で不明確だった事業計画そのものも、同時に明確にすることができました。また、特許性を上げるため先行技術との違いを一覧表にまとめるなど詳細な準備検討の結果、早期審査により出願から3ヶ月で特許権を取得することができました。

窓口を活用して変わったところ

相談者は今回の特許出願を機に、現在の「coco de class 株式会社」を立ち上げました。また知財総合支援窓口と同フロアにある「茨城県よろず支援拠点」のコーディネーターからアドバイスを受け、助成金申請の手続きを行い「いばらき産業大県創造基金事業助成金」の交付が決定しています。特許出願を機に着々と新事業立ち上げの準備が進んでいます。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

特許について調べてみても、どうしても素人には理解出来ない部分があり、特許や商標登録についてそれぞれの内容や特徴を教えてくださいことからスタートしました。知的財産には専門用語も多いので、窓口へご相談に行くことが1番の近道だと思います。特許取得の後、商標登録の出願は自分で行うことが出来るようになりました。

窓口担当者から一言（氏名：駒野 勝）



今回の事業を軌道に乗せるためには、データ処理等について外部機関との共同開発など難しい面も想定されますが、相談者は、新たな知財権の取得も検討しながら積極的に取り組んでいます。知財総合支援窓口としても、他機関との連携も含め幅広い対応をしていきたいと思っています。